

【事業報告書】

HKFA審判委員会 女子部

2023年度 女子審判トレセン・女子審判員研修会



5R

～ 一步一步 着実に ～

- 日にち 2023年10月8日 (日)
■ 場所 厚別南地区センター
厚別公園競技場
■ 講師 大岩真由美氏 (1級インストラクター・HKFA副会長)
■ スタッフ 渡部 学 (2級インストラクター・女子部)
■ 参加者 稲葉里美 (女子1級審判員)
長浜杏名・阿部美季・山田歩美・大村美詞・土屋 花 (2級審判員)
空知地区ユース3級審判員1名
小樽地区ユース4級審判員2名
高校生2名 (審判資格なし)
■ オブザーバー 川合 信氏 (2級インストラクター)

北照高校女子サッカー部の
4名が参加してくれました！

■ 日程

9:30	集合
9:40	開会・交流 ・参加者自己紹介 ★審判員活動を振り返って (大岩INS)
10:40	移動
11:00	試合準備 ・審判団準備 ・試合観戦のポイント (渡部INS)
13:00	★試合観戦 (なでしこ2部第17節 ノルディーア北海道 - ヴィアティン三重レディース) 主審: 大村美詞 副審: 長浜杏名・阿部美季 第四審: 稲葉里美
15:30	★振り返り (大岩INS)
16:00	解散

新しい仲間！

■ 渡部学INSからのコメント

まず今回は、ノルディーア北海道さんの御厚意により2023プレナスなでしこリーグ第17節の観戦型での研修もおこなう事ができ、審判に関わる部分だけではない大会運営の一面を見る事でより有意義なものとなったことをお伝えすると

同時に、御協力に対し改めて御礼申し上げます。

蝦名女子部部長、大岩インストラクターには事前の準備で大変お世話になりました。

今回の研修会では、大岩さんの「これまでの審判と人生との関わり方」を「年表」と照らし合わせながら振り返っていただき、当時考えていた事、感じていた事を審判員に伝えていただく事からスタートしました。

転機となるタイミングで起こった出来事や、大岩さんが選択した行動は、参加研修生や一緒に参加していた私にとっても興味深く、「自分ならどうしていただろうか？」と考えさせられるものばかりでした。

午後からは道内の女子審判員を牽引する4名が、レフェリングする試合を観戦し、前半は主審の動きを「トレース」という初めての経験をしてもらいました。

「良い判定をする為に主審がどこにポジショニングしているのか」は重要な要素の一つです。

「自分だったらどこに動くか」を考えながら試合を見ている研修生もいて、何にフォーカスを当てて見るかで、ただ何となく試合を見るよりも審判として得られるものは多くなると感じました。

ユース年代の審判員も参加してくれましたが「いつもはプレーを見てしまって、審判の動きを追う事は少なかった」と言っているのが印象的でした。

この研修会が参加してくれた審判員にとってサッカー人生の中の一つの転機となる事を願っています。

自分だったら？

■ 川合信INSからのコメント

このたびは研修会を開催していただきありがとうございました。社会人となり活動再開を目指す審判員や大学生になり今シーズン高いレベルの試合を担当した審判員、上級を目指すユース審判員と各年代の審判員を参加させていただきました。大岩さんから貴重なお話をさせていただき、北海道で行われているトップの試合をレフェリーグループで観戦させていただきました。担当していた審判員が「オール北海道セット」ということもあり、若い審判員が多くのかを感じ取る機会となりました。

オール北海道

■ 審判団からのコメント

大村 美詞（主審・2級審判員）

今回は、実技試験の**集大成**を見せられるようにという気持ちで臨みました。春に担当させて頂いたなでしこリーグの試合から、**どのくらい成長出来ているのか自分でも楽しみ**でした。緊張感のある環境の中、ピッチの中で**常に毅然とした態度**でいられた事は今年度の審判活動で**様々な経験を積んできた結果**だと思います。まだまだ、足りない部分はありますがこれから自分の課題と丁寧に向き合いながら頑張って改善して行きたいです。

また、**北海道のレフェリー4人でセット**を組ませて頂いた事が嬉しかったです。高校1年生から審判活動を始め、その当時から常に私の目標として**背中を追いかけてきた3人**の方と一緒になでしこリーグというピッチに立てた事が、心強かったです。

そして、沢山の仲間達、**北海道のレフェリーファミリー**達が試合を観戦してくれていた事もとても嬉しかったです。トレースを取ってくれていた、温かい言葉で感想をくれたり、常に**仲間全員で支え合いながら**活動できていることが再確認できました。

本当にありがとうございました



長浜 杏名（副審・2級審判員）

私が**初めてなでしこリーグ**（当時はチャレンジリーグ）でノルディーアの試合を担当させていただいたのは2015年、今から8年前です（**アセッサーは大岩さん**でした）。当時は**北海道外から来る女子1級の方が主審、副審又は第4審判員のいずれかは男性**の審判員が担当するというのが当たり前のような状況でした。

そこから副審と第4審判員を女子審判員だけで担当できるようになり、**女子1級となった稲葉さんが主審を担当**し、北海道の女子審判員だけで試合を担当することができるようになりました。

今回の試合は**次に続く大村さんが主審を担当、副審も第4審判員も女子審判員**、更には**その次の世代を担っていく若手の審判員たちが観戦研修**という形で試合の振り返りに同席し、まさに**審判委員会女子部**が掲げている「**一步一步着実に**」という合言葉の通り**成長を遂げていることを実感**できた1試合となりました。

リーグ戦の試合数が残り少ないことやチームの状況などを考えると緊張や不安の材料はたくさんありましたが、いつも一緒に活動している**仲間がいたことが本当に心強く**試合にも平常心で臨むことができたと思います。

ありがとうございました。



阿部 美季（副審・2級審判員）

まずは**北海道で活動している女子4名**で試合ができたことをとても嬉しく思いました。1級の稲葉さんをはじめ、**とても心強く安心して臨むことが**できました。試合中は声が出ることもありましたが、全体的を通して4人で協力して円滑に進んだと思います。

個人としては、**フラッグテクニックは自信がついてきた**ところもある反面、後半は**スピード感**についていけず**スタミナ、予測からの瞬時の動き出し**が課題だと思います。

今シーズンは終わってしまいましたが、また来シーズンに向かって頑張りたいと思います。ありがとうございました！



稲葉 里美（第四の審判員・女子1級審判員）

審判仲間や研修会に参加してくれた人達がいる中、試合はとても緊張感があり、**審判チームみんなが試合に集中して**臨んでいました。そして、**このような機会を作っていただいた女子審判部に感謝**しますし、参加してくれた方達には、少しでも審判という役割がどのようなものなのか、試合や振り返りの時間で感じ取っていただきたいと思います。



■ 受講生からのコメント

山田 歩美（2級審判員）

講習会に参加して、改めて**審判の大切さ**や**人との関わり**について深く考えることができました。**大岩さんの今までの経験や周りの方々からの支え**から出来ること、出来たことを知ることができました。その中で、今自分が働きながら審判に向けて思っていることを再確認することができました。

チャンスを掴むための**準備**や**感謝の気持ち**を今後も忘れず、取り組んでいきたいと思います。

感謝の気持ちと

準備が大切！

土屋 花（2級審判員）

まず初めに今回の研修会に参加出来たことをとても嬉しく思います。

大岩さんのお話を聞くにあたって、**自身の審判像を振り返る**ことが出来るとても良い機会になったと思います。特に印象に残っているのが、**審判を続けることは自分を支えてくださった周りの方々の為**でもあるという話にとても共感しました。私自身も今の審判活動が出来ているのも、**周りの方々の数え切れないほどのご好意があったからこそ**だと思います。そのことを忘れず、これからも全力で取り組んでいきたいと思います。

実際になでしこリーグの試合を生で観戦しましたが、**審判としてではなく1観客として、どのような空気感であるのか**を感じることが出来ました。何度かなでしこリーグで審判をさせていただいた時とはまた異なる空気感であり、**内側ではなく外側から審判の立ち位置**がどのようなものであるのかを感じました。多くのことを今回の研修会で吸収することが出来たので、これからは自身の活動の基礎として常に考えていきたいと思えます。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

自分を支えて

下さった周りの方々の為に

空知地区ユース3級審判員

1日ありがとうございました。普段見ることの出来ないことや大岩さんの話を聞き、**自分では思ったり考えたりしないようなこと**など勉強になることがたくさんありました。また、同年代の方たちの発言を聞き、自分の意見をしっかりと伝え流用にしたいと思いました。

小樽地区ユース4級審判員

今回の審判講習会で、貴重な体験やお話を聞かせて頂き、とても勉強になりました！今回の経験を活かしてこれからも審判を頑張って生きたいと思います。

大岩さんのお話では、**私の審判への考え方がすごく変わりました**。今までも一つ一つの試合を大切に、審判をしてきましたが、大岩さんが**目の前の試合がラストの試合だ**と思って取り組むというお話を聞いて、私はまだこれからも審判をする機会があるけど、試合をする**選手の皆さんや監督、コーチの皆さん、チーム関係者の皆さんは、大切な試合**になるので、そのことをこれから意識して一つ一つの試合をラストの試合だと思って取り組みたいと思います！そして、大岩さんが**たくさんの人の支えを忘れずに恩返し**をするという考えは審判だけでなくこれからの進路や生活でも意識して行動していきます！

試合観戦では、今までの試合観戦とは違い審判の皆さんを中心に見ていましたが、思っていたよりも主審の運動量、副審の方の旗の上げ方、4審の方のポジションなど、とても学ぶことが多かったです！改めて試合は選手だけでは出来ず審判の皆さんや**運営の方がいるからこそできていることを再確認**することが出来ました。

今回は初めて試合後のミーティングにも参加させて頂き、ミーティングの話し合いの内容、など初めての発見が沢山ありました。**改善点はもちろん、その日の良かったところ**を全員がたくさん出ている、改善点は見つけやすいですが、良かったところを沢山出すのは大変な事だと思うので、そこまで周りを見ているからこそ審判ができていのだと知ることができ良かったです。

本当に今回の審判講習会でたくさんのことを学ぶことが出来ました！本当にありがとうございました！これからの審判でも活かしていきます！

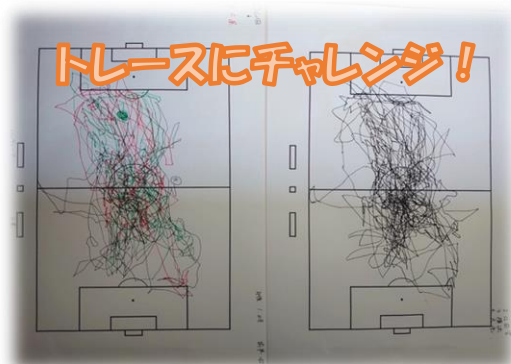
小樽地区ユース4級審判員

今回貴重な研修会に参加することができてとても勉強になりました！審判をしようと思った理由やこれからの目標など色々な思いで審判をしているのがわかったので自分もこれからの審判活動に活かしていけたらいいなと思いました！

大岩さんのお話では、**沢山の人が支えているから恩返しを忘れない**というところが1番印象に残っています。その他にも目の前の試合を**最後だ**と思って取り組む、普段聞くことができない道外の話や**海外の話など興味のある話が多くとても有意義な時間**でした！審判の話だけでなく**人としての部分でも多くのことを学べました**。

試合観戦では自分たちで動いている所を書いてみて沢山の量を走っているのが分かり審判なしでは試合はできなと思いました！試合後のミーティングに参加しその日の**改善点をその日に全員で確認しているのを見て審判チームの団結力**はすごいと思いました。

今回の研修で多くのことを学ぶことができたのでこの経験を忘れずに審判活動をしていきたいです！ありがとうございました！



高校生（審判資格なし）

今日、大岩さんのお話を聞いて、**どんなことでもやりたいことを自分が行動すれば実現できるんだ**と感じました。あまり審判のことに関わることが少ないけど、たくさん大変な思いをして上の級をとって**私たちのサッカーのために動いてくれている人**がいると思うとほんとにたくさんの人が関わってくれているんだと改めて実感しました。今は前よりたくさんの女の子がサッカーに関わっていて上を目指そうと思えばすぐに繋がれるけど、大岩さんは女性1人という中でいろいろな所へ行って学んで、いろいろな環境でいろんな人と関わって、**絶対に不安で大変なことなのに動けるというその行動力がすごい**なと思いました。

お話の中で、次があると思わず、**目の前の1試合がラストゲーム**だと思って取り組むと言っていたのが1番心に残りました。それは審判の時だけでなく、自分たちも同じだと思い自分も残り1年もっと大切にしていこうと思いました。自分が出来ないことをできないで終わらずに、課題をどのように克服するかを考えて取り組んでいた、環境を自分たちで作って取り組んでいた、もっと自分も考えて工夫できるようになろうと思います。そして、サッカーをしていくにあたって、このように審判だったり、**たくさんの人がサポート、協力してくれていることを忘れず、恩返しする気持ち**でこれからもサッカーしていこうと思いました。

ノルディアAの試合観戦では、初めてトレースという作業をして、今はGPSがあるから使わなくなっているけど、前はこれをずっとやっていたと思うと大変だなと思いました。今まで試合を見る中で審判を見るということがなかったので、初めて今日見て、主審の人も結構な運動量だし、とても視野を広くして正確な判断をしなければならないのですごく大変だし、プレッシャーもかかるし難しいことだなと感じました。自分はまだなにもわからないけど、その中でも**堂々として不安を感じさせない動き**をしているように感じてすごいなと思いました。

その後の審判の方達の振り返りでは、**外から見ていて思ったことと、中から見てどうだったか**、という部分をお互い意見を**出し合って結果的にどうしたら良かったのか、どう改善したらいいのか**などを話し合っていて試合終わって終了じゃないんだということを初めて知りました。良いところは良かったと言ってもらっていたし、悪かったところ、気になった点もしっかり指摘して**本人の意見も聞いてからどうしたら良かったのか**を言ったりしていたり、わからなかった場面があったりした時もわからないまま流して聞かずにしっかり聞いて**全員が理解して話が進んでいるところ**などが印象的でした。そしてその聞きやすい、言いやすい雰囲気になっていて**良い雰囲気**だなと思いました。

今回の研修で、私は今までプレーする側だったけど、審判の方達を見て、前までは試合中や試合後に審判の人のことを言ってしまうくらいだったけど、審判の人もなんでもファールなどをとってわけじゃないし、色々なことを考えてその判断をしているからしっかり受け入れてプレーしていこうと思いました。

貴重な体験をありがとうございました！



高校生（審判資格なし）

今回審判員研修会に参加させて頂いて**とにかく充実した一日**になりました。最初はとても緊張したけれど和やかな雰囲気で始まった研修会で**私が喋る度皆さん視線や姿勢をこちらに向けてくれて頷いて聞いてくれてとても話しやすい雰囲気**で数分で私の緊張は和らぎました。大岩さんのお話を聞いて本当に凄い方なんだって驚きました。特に印象に残ったのは「**全ての試合を真剣にラストゲームだと思って取り組んでいる**」ということです。プレイヤーの立場から、私達の為に全身全霊で公平なジャッジをしてくれていると分かってなんだか安心しました。それと同時に**プレイヤーの為に公平なジャッジ**を自分もこれから先出来るのかなと少し不安にもなりました。

そしてノルディア北海道VSヴィアティン三重レディースの試合を見て**普段とは違う視点で試合を楽しむ**ことが出来ました。トレースをやらせてもらって**主審の運動量の凄さ**を感じました。**主審と副審の関係性が大事でアイコンタクト**はもちろんシグナルを使って**いかに分かりやすく正確に伝えられるか**が鍵となり試合を進行する上で大切なことだなと思いました。

そして試合後に体験させて頂いた審判の振り返りの場ではマッチコミッショナーを中心に良かった所や悪かった所、目標にしていた事を達成出来たか、仲間はどうか、外から見ていて審判団がどうかなど様々な振り返りを**短時間で念密**に行っていて凄いと思いました。一般の方には見られない貴重な場を体験させて頂けてとても嬉しかったです。研修会一日を通して審判って**とにかく凄くて努力をしていて人の為に全力で行動出来る素晴らしい事**だと思いました。私も審判を通して選手は**もちろん見ている人を魅了出来るようなシグナル**をして**選手を公平にジャッジし、選手達のプレーしやすい環境**を作ってあげたいと思いました。とても貴重な時間と場に私達をご招待頂けて嬉しかったです。本当にありがとうございました。



なるほど～！



フィードバックに参加！



観客の気持ちに

なってみたい・・・



主審の動きに集中！

■ 大岩真由美INSよりお礼の言葉

この度は、講師にお声がけ頂きありがとうございました。私にとってもチャレンジの研修でした。

それは、最近の講義では目から見てスライドや動画などにより理解を深めるのが主流ですが、今回はあえて何も用意せず、目の前のホワイトボードだけで「これまでサッカーで歩んできた道」や、その中で「大切にきてこと」「苦労や喜び」など、集まった若手審判の皆さんに伝えました。素材に頼らず話術、表現力のチャレンジでした。

講義中の皆さんは、とても真剣な眼差しで聞いていました。最後には、話の中で「共感したこと」「審判活動で大切に感じたこと」を自由な観点で付箋に書き出し、それをホワイトボードに貼り付けて全員に発表してもらいました。自分の考えをしっかりと伝え、また仲間の考えを受け入れる、それが当たり前のように出ており、個々のポテンシャルと同時に、個々に日頃身近で指導してくださる方々の良い取り組みの表れだと感じました。

1人1人の「歩む道」は違って当然です。そして、その「道」は、自分の魅力と可能性にチャレンジできる唯一無二の「自分の人生」です。その人らしく、存分にチャレンジし輝いてくれることを願います。

最後になりますが、観戦研修にあたり有料試合に関わらず、スタジアム入場のためのIDカードの準備や、審判控え室への入場許可を快くお認め頂きましたノルディーア様。

試合後の振り返りでは、担当した審判員や受講生の若手審判員たちへ今後に向けてのアドバイスをして頂きましたマッチコミッションナーの小林様。

そして、今回沢山の若手女子審判員の参加、日頃から女子審判員の普及・育成にご尽力されている空知地区審判委員長の川合様。皆さんのご協力のお陰で、とても有意義で充実した研修となりました。当日、勤務の関係で参加出来なかった審判委員会女子部の蝦名部長に代わりまして、心より御礼申し上げます。

今後とも、女子審判界発展のために、様々な方々と協力しながら、みんなで盛り上げていけることを期待しております。本当にありがとうございました！



感謝

本当にありがとうございました！